

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社Social Bridge

訓練実施施設名: SBキャリアカレッジ心斎橋校

訓練実施施設住所: 〒 5 4 2 - 0 0 8 2

問合せ電話番号: 06-6123-7569

大阪府大阪市中央区島之内1-22-22第一住建島之内堺筋ビル5階 D教室

訓練の種類	実践コース	分野 (営業・販売・事務分野)			就職を想定する職業・職種
	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	託児サービス支援付訓練コース	短時間訓練コース		
訓練科名	不動産・FP実践科			不動産営業員・不動産事務員・保険営業員・保険事務職員	
募集期間(予定)	令和2年8月3日 ~ 令和2年8月24日				
選考日(予定)	令和2年8月31日				
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 面接	<input type="checkbox"/> 筆記試験	その他 ()		
選考結果通知日	令和2年9月7日				
訓練期間	令和2年9月25日 ~ 令和2年12月24日 (3 か月)			(訓練日数 53 日)	
訓練時間	9 時 50 分 ~ 16 時 20 分			訓練定員	14 名
訓練対象者の条件	なし				
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	新規学校卒業者	二丁等の若者	障害者	母子家庭の母等	
	被災者	外国人	その他 ()		
訓練目標 (仕上がり像)	不動産取引やファイナンシャル・プランニングに関する知識や法律知識を初歩から学ぶ。不動産業界や金融(生保損保、証券会社等)業界で幅広く活躍できる人材を目指します。				
訓練修了後に取得 できる資格	名称 (3級FP技能士)	認定機関 (日本FP協会)	<input checked="" type="checkbox"/>	任意受験	
	名称 (宅地建物取引士(合格後に条件あり))	認定機関 (国土交通省)	<input checked="" type="checkbox"/>	任意受験	
	名称 ()	認定機関 ()	<input type="checkbox"/>	任意受験	
	名称 ()	認定機関 ()	<input type="checkbox"/>	任意受験	
	名称 ()	認定機関 ()	<input type="checkbox"/>	任意受験	
訓練概要	不動産取引やファイナンシャル・プランニングに関する知識や法律知識を初歩から学ぶ。				
訓練内容	科目		科目の内容		訓練時間
	入校式・修了式	入校式・オリエンテーション(2H)・修了式(1H)			
	安全衛生の知識	安全衛生		1時間	
	宅建概論(宅地建物取引業法・民法)	宅建業法に関する仕組みや基礎知識、民法、借地借家法、不動産登記法、区分所有法に関する仕組み		72時間	
	宅建概論 (法令上の制限・不動産取引に関する知識)	都市計画法、建築基準法、国土利用計画法、農地法、宅地造成等規制法、土地区画整理法、その他に関する仕組み 所得税、印紙税、登録免許税、不動産取得税、固定資産税、地価公示法その他に関する仕組み		36時間	
	ファイナンシャルプランナー概論 (ライフプランニング・タックスプランニング)	社会保険・住宅ローン・教育資金や老後資金・相続に関する仕組みや基礎、各種税に関する基礎知識および税控除		51時間	
	ファイナンシャルプランナー概論 (リスクと保険・金融資産運用)	生命保険・損害保険におけるリスク、預貯金・証券の金融商品、ポートフォリオ		34時間	
	実技	宅建演習	宅地建物取引業法に基づく不動産取引、民法、借地借家法、不動産登記法、区分所有法、権利関係法令に基づく不動産取引 都市計画における各用途地域の分析、不動産に関する法令、登記、不動産契約 不動産取引における税金の算出、地価公示法、需給と取引、不動産鑑定評価基準に基づく不動産査定算出		66時間
ファイナンシャルプランナー演習		相続時の税や遺産分割方法、住宅取得時の贈与に関する税		34時間	
企業実習	<input checked="" type="checkbox"/> 実施しない	実施する			
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】	不動産職に求められる人材とは(6H×1回)		6時間	
訓練時間総合計	300時間	学科 194時間	実技 100時間	企業実習 0時間	職場見学等 6時間
受講者の負担する費用(税込み)	教科書代			9,460円	合計 9,460円
	その他 ()				
	備考 ()				
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する			
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	初學者でも分かるような教材を用いて丁寧に指導していく。			
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	受講者とのコミュニケーションを大切にすることで、いつも質問しやすい環境を整えている。 またクラス担任制で運用することで日常の細かな出来事にも素早く対応できる体制を整えている。			
備考欄	宅地建物取引士は、合格後に実務経験のない場合は登録実務講習を受講し修了する必要があります。				

訓練実施施設所在地地図

